

# 情報科の学習にあたって

## 1. はじめに

### 普通教科「情報」の目標

情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てることを目標とします。

情報では、上記の目標に基づいて「情報活用力」「情報の収集・発信能力」「情報の統合的処理能力」「情報社会への参加」といった力を身につけられるよう取り組んでいきます。特に情報社会といわれる今日、私たちにとって普通教科「情報」は必要不可欠な教科です。

本校の普通教科「社会と情報」は、1年次に2単位を学習します。ここでは、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通じて情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技術の習得と、情報を主体的に活用する態度を身につけます。情報機器で実習する時間も多く含まれます。

## 2. 学習のしかた

基本的な学習リズムは「予習」「授業」「復習」に加え、「反復」することが大切です。このバランスを崩すことなく学習してください。実習することも多くありますので、欠席すると、その実習の重要点を聞き逃してしまうことになり、次の実習に悪影響を及ぼします。意欲的な姿勢で授業に臨んでください。

### (1) 予習のしかた

- ① 教科書は、事前に本文を読み、ゴシックで表記されている語句の意味や、計算方法・記帳方法をよく確認し、その単元の主張していることをおさえましょう。
- ② 教科書に準拠している「副教材」を利用して、理解を深めましょう。
- ③ キーボード文字配列を覚えましょう。

### (2) 授業の受け方

- ① 授業では、「教科書」「学習ノート」を主に使用します。必要に応じてプリントを配付します。板書用のノートを準備し、併せてプリントのファイリングもしてください。
- ② パソコン室への入室にあたっては、指示のあったものだけを持ってきてください。(室内での飲食、飲食物の持ち込みは認めません。)
- ③ 機器の設定を変更しないでください。
- ④ 個人のマウス・キーボードの使用(設置)は認めていません。
- ⑤ USBフラッシュメモリなどの記憶媒体で個人データを取り込むことはしないでください。故障の原因にもなります。
- ⑥ 授業の最初と最後は、学級委員の号令に従い「お願いします」「ありがとうございました」、また、退室の際には「失礼します」と礼をしましょう。

### (3) 復習のしかた

- ① 授業で学習した内容は、その日のうちにもう一度教科書の再読、学習ノート・板書ノートの確認などをしましょう。
- ② 予習時に不明であった箇所を、授業で理解できたかどうか再確認しましょう。

### 3. 定期試験について

定期試験は、それまでの授業や提出課題で学習した内容をどれほど理解できているかの確認です。日頃の学習に加えて、特に試験発表後は、理解を深めることができていないところを再確認して放課後や家庭学習において補習しておくことが大切です。

### 4. 副教材やノートについて

学習ノート（副教材）は、授業の事前学習・事後学習・定期試験対策として活用し、学習状況の確認として提出を求めます。

板書用ノートについては、授業中における説明の記録や教員の指示による記録、配付されるプリントの貼付（ファイリング）などを行い、自分の試験対策用資料を作り上げましょう。これも、確認として提出を求めます。

### 5. パソコン教室利用時の注意事項

- (1) 飲食物の持ち込みは絶対にしない。
- (2) カバンの持ち込みはしない。
- (3) 情報関連科目で、必要でないものは持参・持ち込みをしない。  
教科書・ノート・筆記用具だけ持参すること。
- (4) パソコンを故障させた場合は、個人はもとより、クラスで弁償することになるので、大切に扱う。
- (5) 濡れた手でパソコンを触らない。
- (6) コンピュータ装置への改変や破壊行為を絶対にしない。
- (7) キーボード・マウス等備品の持ち出しは絶対にしない。
- (8) 実習中は、私語をしない。
- (9) 指示しない印刷はしない。
- (10) パソコン使用後は必ず周辺を清掃し、退室すること。
- (11) 使用後は、担当教職員が点検・確認する。